



下坂部小学校だより

平成31年10月1日 第7号 学校長 杉本 浩美
住所：尼崎市下坂部1丁目12-1
ホームページ：http://www.ama-net.ed.jp/school/E07/



祝 下坂部小学校の「近松郷土学習」の取組が 「博報賞」「文部科学大臣賞」を受賞！！

校長 杉本 浩美

下坂部小学校では、近松門左衛門の墓所がある広済寺が校区にあることから、30年以上前から浄瑠璃クラブを中心として近松ゆかりの芸能を子どもたちが学び、その成果を大近松祭などで発表させていただくとともに、尼崎と近松門左衛門の歴史、校区にあるゆかりの地などについて、社会科や生活科、総合的な学習などで学んできました。また、4年生が近松音頭保存会の方々から教えていただいた近松音頭を全校生と一緒に体育大会でおどったり、金曜日の基礎基本タイムには全校生が「寿式三番叟（ことぶきききさんばそう）」を謡（うた）ったりするなど、全校での取組を進めてきました。

その取組が、博報賞が「児童教育現場の活性化と支援」を目的として設立した「博報賞」の「日本・文化ふるさと共創教育部門」で、「博報賞」と「文部科学大臣賞」で表彰されることになりました。

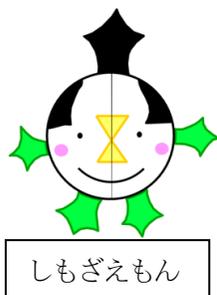
選評では、「近松門左衛門ゆかりの地でその教育資源に甘んずることなく校内に研究部会を設け、6年間にわたるクロスカリキュラムを作成し実践している。具体的には縦軸を「各教科や領域」に、横軸を児童が表現してふるさとと思う心を意識する場として、6年間の層にして「近松郷土学習」として教育課程に位置付けている。単なるクラブやサークルとしてだけでなく「帯学習」で浄瑠璃演目の語りを全校で練習するなど、すべての児童が関わる工夫もある。地域に生きる子どもにとって、ふるさとの誇りとなる伝統文化を受け継ぎ、新たな伝統を創造していく活動は評価できる。」ということばをいただきました。

* 詳しくは「博報賞/博報財団」のホームページをご覧ください。

<https://www.hakuhofoundation.or.jp/prize/recipient/newest/>

今回の受賞は、今、学校で近松郷土学習に取り組んでいる児童や先生方はもちろん、下坂部小学校のために力を貸してくださった地域の皆さん、近松記念館や広済寺の方々、学校に足を運んで直接子どもたちに指導して下さった近松音頭保存会や岩城社中三味線クラブの皆さん、そして下坂部小学校の近松郷土学習を作り上げ今までつないでくださったたくさんの卒業生や先生方に心から感謝して、一緒に喜びたいと思います。

今回表彰していただいたことを励みにして、さらに子どもたちが地域に自信と誇りをもって取り組むことができる「近松郷土学習」を進めていきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願いいたします。



しもぎえもん

【10月の行事予定】

- 1日(火) 朝会 3年虫歯予防教育
- 2日(水) 6年心の健康教育
- 4日(金) 4年社会見学(防災センター)
- 7日(月) ~11日(金)
5年生自然学校(美方高原)
- 8日(火) 2年学年行事 セレクト給食
- 14日(月) 体育の日
- 16日(水) 6年生連合体育大会
- 17日(木) 3年社会見学(お店調べ)
- 21日(月)・23日(水) ~25日(金)
個人懇談
- 22日(火) 即位礼正殿の儀の日
- 27日(日) 大近松祭(近松記念館)
- 28日(月) 委員会
- 30日(水) 就学時検診(来年度入学予定者)

【11月の主な予定】

- 1日(金) 校外児童会
- 2日(土) 学校開放フェスティバル
- 3日(日) 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 朝会 避難訓練(火災)
- 15日(金) 5年尼崎市音楽会
- 22日(金) 図工展(児童館賞日)
- 23日(土) 図工展(保護者鑑賞日)
オープンスクール
- 25日(月) 代休日
- 26日(火) クラブ



★ 5年生 自然学校に行きます



10月7日から4泊5日で、5年生が美方高原にある尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」に自然学校に行きます。自然学校は、毎年5年生が家族や学校と離れて大自然の中で活動することにより、自然の大切さに気づいたり、仲間と協力し合うことの大切さに気づいたりすることを目的に実施しています。今年も、林業体験や沢のぼり、野外炊事、オリエンテーリング、星空観察、キャンプファイヤーなど様々な体験を通して学習してきます。

★ 個人懇談 ご協力をお願いします

10月21日から祝日ははさんで4日間、個人懇談を予定しています。お忙しい中、日程調整にご協力いただきありがとうございます。子どもさんの学習や学校生活のこと、がんばっていることなどについて、おうちと学校とで一緒にお話ししながら、ともに手を携えていく貴重な機会だと考えています。ご心配なことも含め、おうちでの姿も教えていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

★ LGBTに関する職員研修を行います

尼崎市では来年、「市人権文化いきづつまちづくり条例(仮称)」を制定し、性差や障害の有無、民族や国籍などの多様性を尊重するまちづくりをすすめていくことになっています。

学校でも様々な人権教育についての課題を取り上げて職員研修をしています。今年、本校では、LGBTに関する研修として、性的マイノリティについての理解を深め、多様化するこれからの社会の中で、子どもたちが正しい理解に基づく人権感覚や思いやりの心が持てることをめざしていきます。

